

神奈川県肝炎対策推進計画（平成 30 年度～平成 34 年度）

～ 概要版 ～

ウイルス性肝炎は、自覚症状がないまま肝がんへと進行しやすく、県民のいのちを守るために対策を推進することが必要です。

そこで、県では、県の総合的な肝炎対策の推進を図るため、平成 25 年 3 月に「神奈川県肝炎対策推進計画」（平成 25 年度～平成 29 年度）を策定し、肝炎対策を着実に進めてきました。

これまで、ウイルス性肝炎は難治性の病気と言われていましたが、近年の治療薬の飛躍的な進歩により、肝炎は「治る病気」「コントロールできる病気」となってきました。

こうした肝炎を取り巻く状況が大きく変化する中、このたび、「神奈川県肝炎対策推進計画」の計画期間が終了することから、県民の皆様や関係団体、市町村などからいただいたご意見を反映しながら、「神奈川県肝炎対策推進計画」を改定しました。

この計画は、平成 28 年 6 月に改正された国の「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」の内容を踏まえ、本県におけるさらなる肝炎対策を推進するうえでの道しるべとなるものです。

基本理念

正しい知識で肝臓を守り、いのちをつなぐ・ささえる神奈川づくり

基本方針

- ・知る・・・まず知ることから
- ・動く・・・自ら行動する
- ・支える・・・県民総ぐるみで支える

全体目標

ウイルス性による肝炎から肝硬変または肝がんへの移行者を減らす。

施策展開

1 肝炎の予防及び正しい知識の普及啓発

- ◇ 肝炎を予防するための普及啓発
- ◇ B型肝炎ワクチンの定期接種の推進
- ◇ 肝炎患者等に対する偏見や差別の防止

〔個別目標〕

- ・ 肝炎に対する認知度（どのような病気か知っている割合）を向上します。
県民ニーズ調査における肝炎に対する認知度の向上
(平成 25 年度 : 47.4%⇒平成 34 年度 : 57.4%)

2 肝炎ウイルス検査の受検の促進

- ◇ 肝炎ウイルス検査に関する普及啓発
- ◇ 肝炎ウイルス検査の実施
- ◇ 職域における受検勧奨

〔個別目標〕

- ・ 肝炎ウイルス検査受検率を向上します。
県民ニーズ調査における肝炎ウイルス検査受検率の向上
(平成 29 年度 : 23.2%⇒平成 34 年度 : 33.2%)

3 肝炎医療を提供する体制の確保

- ◇ 肝疾患診療ネットワークの充実・強化
- ◇ 検査陽性者のフォローアップ

〔個別目標〕

・県内全市町村において、肝炎ウイルス陽性者を適切に医療につなげるための体制を構築します。

(陽性者フォローアップ事業 県内全市町村実施率 100%)

4 肝炎医療や肝炎対策に携わる人材の育成

- ◇ 医療従事者のスキルアップ
- ◇ 肝炎対策に携わる人材の育成

〔個別目標〕

・「肝疾患コーディネーター」を養成し、かかりつけ医療機関、薬局、職域、行政などに配置します。

(平成 34 年度までに 500 人養成・配置)

5 肝炎患者等及びその家族等に対する支援の強化及び充実

- ◇ 相談支援
- ◇ 肝炎患者等に対する情報提供等
- ◇ 肝炎治療医療費助成制度等の実施

〔個別目標〕

・相談したいが相談できないでいる患者（「相談先がわからない」も含む）の割合をゼロにします。

「肝炎患者に対する意識調査」における割合減少

(平成 28 年度 : 15.7%⇒平成 34 年度 0%)